

# 内モンゴル師範大学音楽院声楽部の声楽指導カリキュラムと授業内容作成の試み ～日本の教育大学との比較を通して～

教育内容・方法開発専攻 文化表現系教育コース  
芸術系表現分野（音楽） M11185C 陸 広林

## 1. 研究の目的

内モンゴルでは、小・中・高等学校における音楽の授業が国語、算数、理科、社会、英語ほどには重要視されていないという現状がある。同様の傾向は日本にも見られるが、内モンゴルではその程度がより顕著である。その授業内容はあまりにも日本より遅れている。

その主な原因として、小・中高等学校における授業の為に教材、施設、設備が整っていないことがあげられる。これは内モンゴルの政治・経済的な問題であり、日本との教育政策の違いや経済的格差を考慮すると、教材・施設・設備等が整った日本の音楽教育を直ちに内モンゴルで実践することは困難である。

特に内モンゴル師範大学における教育の中でも音楽教育は他と比較して大変発展が遅れているという現状がある。これも先に述べた教育政策と経済的問題からくる小・中・高等学校の音楽教育の遅れによる影響が原因である。

師範大学の学生の大半が、入学して初めて音楽に本格的に触れるような状況であり、基礎知識・ソルフェージュ等の育成が十分でないまま卒業をしてゆく。その学生たちが音楽教師となり小・中学校で指導をするという悪循環を繰り返しているのが現状である。

本研究では、内モンゴル師範大学にお

ける音楽教育及び日本の教育大学における音楽教育の授業計画・カリキュラムを分析し、両者の比較検討を行う。両者の比較を通してその教育における差異を取り上げ、現在の内モンゴル師範大学の音楽教育の水準で実現可能な音楽教育のカリキュラムと授業計画を作成する。カリキュラムと授業計画の作成を通して自国の音楽教育の発展に貢献したい。

## 2. 論文の構成

はじめに

### 第1章 内モンゴルにおける音楽教育の現状と問題点

#### 第1節 内モンゴル教育庁教育指導法（小・中学校）音楽編

#### 第2節 小・中・高等学校における音楽の授業の現状と問題点

#### 第3節 師範大学音楽院声楽部におけるカリキュラムと声楽の授業内容

#### 第4節 師範大学音楽院声楽部における声楽の授業の現状と問題点

### 第2章 日本における音楽教育の現状と問題点

#### 第1節 文部科学省学習指導要領（小・中・高等学校）音楽編

#### 第2節 小・中・高等学校における音楽の授業の現状と問題点

#### 第3節 教育大学における音楽のカリキュラムと声楽の授業内容

#### 第4節 兵庫教育大学芸術系音楽分野に

おける声楽教育の現状と問題点  
第3章 日本の教育大学の声楽教育をふま  
えた内モンゴル師範大学音楽院声  
楽部の声楽指導カリキュラムと  
授業内容の作成

第1節 内モンゴル師範大学音楽院と日  
本の教育大学における声楽指導  
の比較・考察

第2節 内モンゴル師範大学音楽院声楽  
部における声楽指導カリキュラ  
ムの作成

第3節 内モンゴル師範大学音楽院声楽  
部における声楽の授業内容の作  
成

おわりに

謝辞

参考文献

### 3. 内容

第1章では、内モンゴルにおける音楽教育の現状と問題点について、師範大学音楽院声楽部の指導カリキュラムと声楽の授業内容の前提条件として内モンゴル教育庁の小・中学校音楽教育指導法及び小・中・高等学校における音楽の授業の現状と問題点を説明した。次に同音楽院声楽部のカリキュラムと声楽の授業内容をあげ、その現状と問題点をまとめた。更に実技のカリキュラムとその力量形成について、教員にはインタビュー、学生にはアンケート調査を行い現状と問題点を明らかにした。

第2章では日本における音楽教育の現状と問題点について、まず文部科学省小・中・高等学校学習指導要領（音楽編）についてその目標と指導内容をまとめた。次に日本の二つの教育大学、兵庫教育大学（小学校教員養成課程）と鳴門教育大学（中・高等

学校教員養成課程）を選んで音楽科のカリキュラムと声楽の授業内容について研究を行った。最後に、兵庫教育大学芸術系音楽分野において声楽、ピアノ、合唱、伝統音楽を指導する先生方にはインタビューを、学生にはアンケート調査を行い、実技のカリキュラムとその力量形成について考察を行った。

第3章では第1章と第2章で得たデータをもとに、内モンゴル師範大学音楽院と日本の教育大学における声楽のカリキュラムと授業内容の比較・考察を通し、師範大学音楽院声楽部の新しい声楽指導カリキュラムと授業内容の作成を行った。

### 4. 研究の成果

本研究は、内モンゴル師範大学音楽院声楽部の新しい声楽指導カリキュラムと授業内容を作成するため、声楽教育の観点から日本と内モンゴルの音楽教育の現状と問題点を比較研究したものである。

特に日本の教育大学の声楽におけるカリキュラムと授業内容を分析して、カリキュラムの優れた部分とその授業内容を取り出した。それを現在の内モンゴル師範大学音楽院声楽部で実現可能なカリキュラム、授業内容として調整して作成を行った。

本研究を通して内モンゴル師範大学音楽院声楽部の声楽のカリキュラムとその授業内容は従来より改善され充実したカリキュラムを作成できたと考える。しかし今回は時間的な問題もあり調査や分析も十分とはいかず、カリキュラム・授業内容ともにまだまだ改善して付加すべきところが多い。更に充実したものが作成できるよう継続して研究を進めていきたい。

主任指導教員 保坂 博光